**私から始まる平和統一**

長野教会　蓼沼淳一

第275期清平40日修練会国際チームの証がユーチューブにアップされた内容に感動しました。

証の内容はマレーシアの一人として40日修練会に参加し、修練中不幸にも大金入りの財布無くしてしまいます。行き帰りの旅費や、費用をほぼ無くしたという事実にその時からこの修練生の修練会の目的は財布を探す事に集中する事になりました。

ところが財布は見つからず困惑を極める中で、ふと何の為の修練会であったのかを振り返った時に、4月13日の天苑宮入宮式により復帰摂理の完了、天の父母様が直接人類に働いて下さる時代を真の父母様が開いて下さり、ワンオンマに侍り孝情を示して差し上げなければならない思いになり修練会に集中するようになりました。

この証を天心苑徹夜祈祷会でしたところ、イ・ギソン苑長の関心を奮い立たせ全面的なバックアップの恩恵に預かったのです。

更に無くした額面以上の寄付金が周りから集まり、寄付を伝道活動に効率的に活用してその証がやがてマレーシアのアンゴラ大使館迄伝わり、大使館に呼ばれて統一原理の紹介をするようになりました。

現在マレーシアでは国家的な社会問題に直面していて、環境問題、労働、医療福祉、性的少数者の権利、政治不信、民族間の緊張と不平等、経済格差、教育の質やアクセス、汚職等が挙げられます。

抜本策な対策が急務な中、証をした修練性は統一原理の説明を通して、家庭連合の真の愛による平和世界実現をレクチャーしたところ、大使館では大いに感動を呼び、国を挙げて家庭連合の理念に同参するような動向を呈する様になりました。

　一人の修練生のうっかりミスではありますが、それを公的な立場で証し再度出発の動機に立ち返って天心苑で激祷の末、ホリーマザーハンと一つとなる中、天の父母様との出合いの証や伝道をSNSで拡散する事で国家を動かす事が可能となった証でありました。

　私は、「平和統一」は私一人の天の父母様、真の父母様に対する孝情や決意で展開出来ると思います。一人の修練生の修練会に臨む動機がそれほど迄に切実であり、天苑宮・天一聖殿入宮の意味を考えて、やがて国家を動かしたことは改めて『私から始まる平和統一』を認識した次第であります。